

活動は最も能動的且つ精力的であらねばならぬと共に日常不面に資本に対する精密なる調査が行はれておなければならぬ。即ち

- 一、 解雇手当の要求等には科学的な統計の調査受に對する信用状態或は生産品市場に於ける予備等
 - 二、 資本家の実力と其の財源系統
 - 三、 経営者或は主管者の専業或は性格境遇等
- 不測に之等のものがよく調査されて居るならば争議闘争を有利に導く事は容易であつて斯くして調査こそは組合の最も重要な任務の一つである。争議に際して「當つてくばりう」式の無見見照方針は敢て許けねばならぬ。争議を有利に導く為には組織部との連絡が暇も遠慮に且つ密接に遂行して執る可きであつて、動員網の確立、争議基金の準備等は平素より心掛けておく必要がある。

青年部

一、 組合に組織される労働青年は二つの方面の任務を負つ。その一つは労働青年

「獨自」の任務であり、他の一つは組合運動全般に對する任務である。而してそれ等は各自独立の存在ではなくして單一的存在の二面に過ぎない。換言すればそれ等の一方は他の一方の遂行なくして実現されるものではないのである。この不可分の凶難性に対する認識の不足が今日まで謂ゆる「青年獨自の立場」にこたへて運動上の誤謬を生む一つの原因となつて来た。

二、 労働青年独自の任務とは謂ふまでもなく資本の特殊的重搾取り犠牲となつて居る。現在の青年労働者のその特殊の搾取徹底の爲の闘争である。この点に關しては労働青年は幼年労働者及び（広義に於ては）婦人労働者の立場をも代表する。組合青年部がその婦人部と特に近親關係に立つ所以は茲にある。

三、 組合運動全般に對する任務とは俗に謂ゆる青年の身軀を以つて組合戦線の前衛を引き受けると共に運動全般を常に活潑ならしめる役割である。然しながら、この方面の任務は明らかに青年「獨自」のものではない。唯青年はその本質上この方面に於て特に適切なる活動場面を手へら取て居るといふに過ぎない。それ水が敢にこの運動の部分をも青年独自の任務であるかの如くに取扱つて、それ水が青年部のみに役付けることは誤謬である。また此の方面に於ける今日迄の